本プログラムにおけるSDGs教育の効果について

プログラム内容	該当SDGs番号	体験効果
害獣被害見学、ジビエ試食	15. 陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	捕獲したイノシシをただ駆除して廃棄するのではなく、食料として循環させることで、無駄のない資源として活用することを学ぶことができます。 また、食料として活用を進めていくことで、必要以上の駆除がなくなり、生態系の維持にもつながります。
竹害被害見学、竹炭作り体験	11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする 15. 陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	放置竹林を目の当たりにすることで、竹の繁殖力や他の木々与える悪影響を学びます。また、その竹を竹炭に変えることで、地球環境改善を促進させるものに変化することを学びます。 以下、竹炭の効能。 （1）土壌改良： 竹炭は土壌改良剤に位置付けられます。直接的な肥料ではありませんが、竹炭は微細な空洞から成っており、その空洞により適度に土内に空気が入るため微生物を活性化させます。微生物が活性化することで、土壌の殺菌、抗菌作用が働き、作物の成長や汚染された土地の改良に役立たれます。また、竹炭を含んだ土地は適度に水分を含み、 無駄な水分を輩出する作用があるため、土地の地力が高くなります。これにより、土砂災害、地滑りなどを防ぐ効果があります。 （2）大気改良（浄化）：地球温高は大気中の二酸化炭素ガス（CO２）やメタンガス（CH４）が大気を保温していることが原因とされています。そのため、地球温暖化を防止するにはこれらのガスを防止することが有効な手段になります。 人類は化石燃料を使うようになって以来、地中に眠っていた炭素を大気中に CO２ として放出するようになりました。 竹炭を土壌改良剤として土壌に配合すると、炭素と結びつき、数千年の間破壊しないと言われてい ます。つまり、半永久的に空中の CO２を地中に固定することができます。結果として、温暖化の原因となるガスを地中に吸収させることとなり、温暖化進行を防ぐことになります。 （3）水質改良：活性炭が水や空気を浄化する効果があることは広く知られていますが、竹炭は活性炭に次いで優れた浄化作用があります。竹炭はその中に微細な空洞を有しており、その空洞を汚染された水が入ることで、抗菌され、浄化されます。竹炭を大量に湖沼などに投入すれば、魚の住めない湖沼の水質 が浄化されることが期待できます。
防災プログラム	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	ガスバーナーや、人口の着火剤を使用せず、天然のものだけで着火、調理するプログラムとなるため、ライフライン停止時の対応力が身につくと同時に、温暖化対策や環境保全にもつながる内容になっています。
トートバッグ作り	持続可能な方法で生産し，責任をもって消費する（食品、衣類、資源） 15. 陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	自然素材で作られた無地のトートバッグに、各自で好きな模様を描いて、オリジナルのエコバッグ作りを行います。 自分で作ることで、より環境保全を身近に感じてもらい、かつ、自分のつくった愛着のあるエコバッグを持つことで、レジ袋削減に貢献する機会を多く与えることを図ります。